

# ひふみのあゆみ

ひふみ投信 ご報告書

2008年11月21日号

レオス・キャピタルワークス株式会社

金融商品取引業者：関東財務局長(金商)第1151号

加入協会：社団法人投資信託協会

社団法人日本証券投資顧問業協会



RHEOS CAPITAL WORKS

お客様の資産形成のパートナーに「ひふみ投信」をお選びいただき、誠にありがとうございます。

今回は、ファンドマネージャーから皆さまへのメッセージをお届けいたします。

## ■ ひふみ投信 ホツとしていたら、また下がるの？

10月で何とか悪夢は過ぎ去ったのかと思いきや、11月の株式市場もまた下げ始めています。今回は、10月のような悲壮感はないものの、じりじり・ダラダラと下げているだけに嫌な感じですが、ひふみは何とか下げ渋りながら頑張っています。日経平均が26年来の安値圏にあるなかで、「ひふみ投信」で保有している「ニトリ」が上場来高値を更新し、「ワタミ」も2000年来の高値を更新してきています。これこそが、銘柄を丹念に選んで投資する醍醐味だと実感しています。皆さまには、是非この安いときに「ひふみ投信」をしっかりと「ためて」おいていただきたいと願っています。

## ■ どうして、そんな会社があるの？

11月10日号の「ひふみのあゆみ」では、「日本の消費に関連する会社」(専門用語で内需関連)を中心に購入したとコメントしましたが、その後、多くのお客様より「なぜ国内需要なのでしょう？」という質問をいただきました。

冬のボーナスシーズンを控えて、世界景気減退・・・世の中真っ暗な雰囲気ですが、実はよく見ると日本のなかにも意外といい部分があるのです。内閣府が出している最も包括的に国内消費動向を表す「消費総合指数」を眺めてみると、着実に年間1~2%位ずつ伸びているのです。よくメディアでは「消費底割れ」などと報道されますが、海外景気が悪くなって輸出や設備投資が大きく落ち込む中では、逆に「底堅い」というのが実感です。これは、2003年以降、元気になったといわれる景気回復が、日本人の生活感覚としてあまり感じられなかったことと関係がありそうです。実は2003年からの景気回復の原動力は「欧米・新興国を含めた世界景気」であり、その恩恵は輸出・現地生産といった企業の方々には実感できても、一般の日本人にはあまり関係ないところで盛り上がっていたからではないでしょうか？ とすれば、今回世界景気減速、といわれても、日本人の生活にはあまり関係ないともいえそうです。だからこそ、「消費総合指数」が安定しているのです。また前回も触れましたが、より生活実感として大事なのは、①海外景気が減速して金融危機が起こってくれたお陰で(不謹慎ではありますが)ガソリンやスーパーで買う食品などの値段が下がってきていることや(メディアでは、この間までのインフレ危機が、デフレ危機に変わってしまいましたね)、②円高で日本の「円」の価値が海外の通貨と比べて上がったので、海外から輸入するのモノが安くなったり(ニトリの円高還元セール!)海外旅行の費用が安くなったりしていること、でしょう。そう考えると、すごく得した気分になるのがデフレ(物価の下落)や円高で、日本人の消費(内需)にとっては大きな追い風です。(もちろんお金持ちの方にとっては、海外資産が円高で目減りしたり、株式や不動産が下がったりして、元気がなくなっているかもしれませんが。)そして、政府の「超大型」の経済対策や日本の人口動態までもが日本の消費を支えるのですが、これはまたいずれ触れることにしましょう。

## ■ だから、ひふみは楽しみ！

こんな日本の消費、それもみなさまの生活を支える会社の株式が、ひふみ投信にはたくさん組み入れられていて、ひふみ投信が踏ん張っている秘密でもあります。今後も、市場ですから紆余曲折があるとは思いますが、是非暖かいご支援と理解をいただき、皆さまの資産形成のお手伝いができれば幸いです。

(シニア・ファンドマネージャー 立田博司)

・本資料は、レオス・キャピタルワークス(以下「当社」といいます。)が投資家の皆さまに情報提供を行なう目的で作成したものであり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。

・本資料の作成にあたり、当社では情報の正確性等について細心の注意を払っておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。

・本資料に掲載されている市場見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合もあります。

・投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行なっていただきますようお願いいたします。

- 回目のひふみのあゆみではポートフォリオの内容も含め、12月初旬にお届けいたします。

## 「ひふみ投信」のコミュニケーション(セミナー)のお知らせ

### ひふみサロン (ためてふやすはじめの一步)

まだ預金しかしたことがなく、はじめの一步を踏み出せないあなたへ。  
「こんなこと聞いてもいいの?」「初歩的なことで気が引ける…」など、お金のことに興味はあるけど、セミナーへの参加は気が引けるというお客様にも安心してご参加いただいております。

12月 5日(金) 15:30~17:00

12月 15日(月) 19:00~20:30

### ひふみアカデミー (もっと詳しく知りたい)

投資信託の運用や、株式市場、経済に関して、もっと突っ込んで勉強してみたい方のために「ひふみサロン」よりレベルアップした内容となっております。  
特に、100年に1度の世界的金融危機以降、今後の経済市場の動向についての質問が多く寄せられています。  
ファンドマネージャーの説明もさることながら、参加された他のお客様の意見も参考になるとご好評をいただいております。

12月 9日(火) 19:00~20:30

場所 : 当社会議室(東京メトロ半蔵門線 半蔵門駅徒歩4分)

<http://www.rheos.jp/about/overview/access.html>

人数 : 各回 15名(先着順とさせていただきます)

参加費 : 無料

当社ホームページからお申込みください。 <http://www.rheos.jp/hifumi/seminar/>

## ◆「ひふみ投信」の概要について ※詳しくは投資信託説明書(目論見書)をご確認ください

商品分類	追加型株式投資信託／国際株式型(一般型)	
当初設定日	平成20年10月1日	
信託期間	無期限	
決算	毎年9月30日(休業日の場合、翌営業日)	
収益の分配	決算時に収益分配方針に基づいて分配を行いません。	
お申込み	お申込単位	10,000円以上1円単位の金額指定でお申し込みください。 なお、収益分配金の再投資は、1円以上1円単位となります。
	お申込価額	ご購入のお申込受付日の翌営業日の基準価額
	お申込受付日時	当社営業日の9時~15時まで (国内の金融商品取引所の売買立会が午前立会のみ半休日は11時まで)
途中換金	途中換金(解約)単位	1口以上または1円以上
	解約価額	「解約請求受付日」の翌営業日の基準価額となります。
	受付時間	毎営業日の15時(半日営業日は11時)までとなります。 解約のご請求は、お電話による受け付けのみとなります。
課税関係	収益分配時の普通分配金、一部解約時および償還時の個別元本超過額に対して課税されます。 ※今後税法が改正された場合などには、課税関係が変更になる場合があります。	

- ・本資料は、レオス・キャピタルワークス(以下「当社」といいます。)が投資家の皆さまに情報提供を行なう目的で作成したものであり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。
- ・本資料の作成にあたり、当社では情報の正確性等について細心の注意を払っておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。
- ・本資料に掲載されている市場見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合もあります。
- ・投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(目論見書)の内容を必ずご確認ください。投資判断はお客様ご自身で行なっていただきますようお願いいたします。

## ◆「ひふみ投信」に係るリスクについて

「ひふみ投信」は、国内外の株式を組み入れるため、株価変動の影響を大きく受けます。一般に株式の価格は、個々の企業の活動や業績、国内および国外の経済・政治情勢などの影響を受け変動するため、株式の価格が下落した場合には基準価額は下落し、投資元本を割り込むことがあります(株価変動リスク)。外貨建資産を組み入れた場合、為替レートの変動の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。投資国・地域の政治・経済情勢や株式を発行している企業の業績、市場の需給等、さまざまな要因を反映して、「ひふみ投信」の基準価額が大きく変動するリスクがあります(為替変動リスクとカントリーリスク)。したがって、お客様(受益者)の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。この他には、流動性リスクや信用リスク等があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

## ◆お客様の負担となる費用について

◇お客様に直接ご負担いただく費用：ありません

申込手数料・換金(解約)手数料・信託財産留保額は一切ありません。

なお、「振込購入」に際しての送金手数料はお客様負担となります。

◇お客様に間接的にご負担いただく費用：次のとおりです

信託報酬	信託財産の純資産総額に対して年1.029%(税抜年0.980%)
監査費用	信託財産の純資産総額に対して年0.00525%(税抜年0.005%)
その他の費用	組入有価証券の売買の際に発生する売買委託手数料(それにかかる消費税) 先物取引・オプション取引等に要する費用、外貨建資産の保管等に要する費用 租税、信託事務の処理に要する諸費用および受託会社の立替えた立替金の利息など

※ 「その他の費用」については、運用状況等により変動するものであり事前に料率、上限額等を表示することができません。

～お問合せ先～ コミュニケーション・センター  
電話： 03-5214-0123 (平日9時～17時)  
メール： cc@rheos.jp

・本資料は、レオス・キャピタルワークス(以下「当社」といいます。)が投資家の皆さまに情報提供を行なう目的で作成したものであり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。

・本資料の作成にあたり、当社では情報の正確性等について細心の注意を払っておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。

・本資料に掲載されている市場見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合もあります。

・投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行なっていただきますようお願いいたします。